

第9回セイカ子ども大学

「クリスマスオーナメントを作ろう！」

色の魔法・わたしの色

実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム
<精華町・京都精華大学・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）>
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2025年12月6日（土）・12月13日（土）（2日間の開催）
午後1時～4時
- 【開催場所】 SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター
- 【開催趣旨】 色について学び、自分だけの色を使ってクリスマスオーナメント（リースもしくはツリー）を作る。1日目は、「色」について楽しみながら学び、自分の好きな色を探しモビール作り。2日目は、自分の好きな色の素材をたくさん集めてクリスマスオーナメントを作る。「クリスマスは赤と緑」という見なれた色を改めて考え自分の色でクリスマスを楽しむ機会とする。
- 【講師】 京都精華大学マンガ学部キャラクターデザインコース
准教授 丸岡 慎一先生
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学3年生～中学生（小3,小4は保護者同伴）
- 【参加者】 11組
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町立小学校
チラシ配架：精華町役場・図書館
SNS：精華町HP・Instagram・K-Scan HP
- 【内容】 1日目:色の実験
- ①水を入れた透明のカップに色のインクを垂らして薄い色から順番に並べてグラデーションを作り、青のインクなら自分が「青」だと呼べる色水はどれかを考える。
 - ②コピックマーカーから1番好きな色を探し、カラーペーパーを作る。「自分の色」と組み合わせる色を考える。
 - ③カラーペーパーを切り貼りしてモビールを作る。
- 2日目:オーナメント制作
- ①クリスマスツリー（三角錐）もしくはリース（輪）を選択。
 - ②持ってきた素材や作った素材を並べて、オーナメントのデザインを設計。
 - ③土台となるスタイロフォーム（発砲素材）をデザインした形に熱線カッターで切断。（要注意の作業だが補助の学生さんのサポートでクリア）
 - ④自分の好きな色を塗り、素材を飾り付けてオーナメントを仕上げる。

【1日目】

色のグラデーションを作る。



カラーペーパーからモビールを作る。



【2日目】

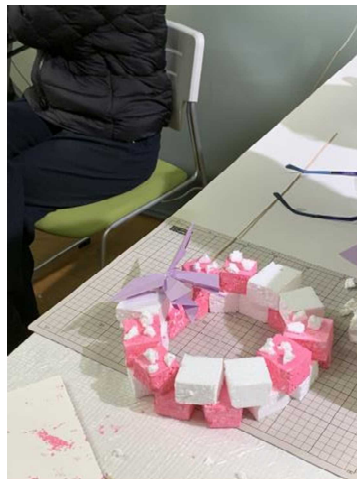
オーナメントのデザインを設計。



スタイロフォーム（発砲素材）をデザインした形に熱線カッターで切断。



自分の好きな色を塗り、素材を飾り付けてオーナメントを仕上げる。



【アンケート集計結果】 (11組回答)

このイベントを知ったきっかけは？ (数字は人数)

- ・チラシ (学校から ⑦ ・ 公共施設等) ・精華町HPやSNS ①
- ・その他 ① (けいはんなエリアの案内) ・無回答 ②

「自分の色でクリスマスオーナメントを作ろう！」はどうでしたか？ (数字は人数)

- ①作業 ・簡単すぎた ⑩ ・ちょうどよかった ⑩ ・むずかしすぎた ①
- ②説明 ・わかりやすかった ⑩ ・わかりにくかった ① ・無回答 ①
- ③時間 ・時間が足りなかった ③ ・ちょうどよかった ⑧ ・時間が余った ①

ワークショップ全体を通じて、どうでしたか？ (数字は人数)

- ・よかった ⑪ ・よくなかった ① ・その他 ①

※その理由をご記入ください。

- ・色々な道具とかがあったから。
- ・創造力を養う素敵な授業でした。
- ・2回目が楽しかったです。
- ・時間に余裕があり、十分に楽しめた。
- ・貴重な体験です。
- ・いろんな物を作ったりして楽しいから。
- ・家ではこんなに時間をとってあげられなかったと思ったので。
- ・自分でいちから考えて作っていくのは難しいけれど、良いですね。
- ・いつもできないことをたくさんできたから。

その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

【本人】

- ・普段できないことができてよかった。コピックがたくさんあるのもよかったです。
- ・切ったり、貼ったりで大変だったけど、いろんなかわいい物を作ったりできて楽しかったし、またこういうイベントがあれば行きたいです。本当に楽しかったです。
- ・作るのは難しかったけど自分だけのクリスマスオーナメントを作れて楽しかったです。また、できる時があったらクリスマスオーナメントを作りたいと思いました。
- ・2回目の色ぬりが楽しかったです。土台を切る機械がなめらかに切れて楽しかったです。
- ・切ったり貼ったりするのが楽しかったです。またやりたいです。
- ・たくさん材料がある。みんなとってもやさしい。
- ・とにかく楽しかった。

【保護者】

- ・ワークショップが好きで色々に参加していますが、たくさんの画材を使わせてもらったり、体験したことのない内容でとても楽しめました。先生や学生さんが子どものやりたいことを否定せずにほめながら手助けしてくださるのも嬉しかったです。
- ・大学生の助手の皆さんが、頑張ってくれていたのが印象的でした。
- ・1回3時間という長丁場のワークショップでしたが、自宅ではできない製作でありとても集中して取り組めていました。会場でできなかった部分は自宅できるように材料をいただけたので、自宅でも製作の続きをすることができたので良かったです。
- ・参加した子供さんのいろいろな発想が、見れててそんな考え方があるのかと楽しかった。
- ・2回目の時は最初の説明だけでピンときていなかった様子。女性の方に再度聞いて進めることができた。
- ・みんなの作品を見たかったです。こだわった点などの発表。
- ・ある程度どのかつなものを作るかのイメージがわくように作品例があればスムーズかな。(いや、ないのが良いとは思いますが自由に創造することに慣れてなかったりするの)い少し部屋が寒かったです。(子供はちょうどよかったようです) 助手の人たちがまめにほめてくれたので子供も楽しく作っていたようです。

科学に対する関心度を教えてください。(数字は人数)

- ・とても関心がある ②
- ・関心がある ③
- ・どちらともいえない ③
- ・あまり関心がない ①
- ・まったく関心がない ①
- ・無回答 ②

今回のイベントのように精華町では、みらいを担う子どもたちに、学研都市にふさわしい学びの機会を提供する「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの取り組みを行っています。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

(数字は人数)

- ・良い取り組みだと思う ⑨
- ・学研都市にふさわしい ②
- ・今後も継続してほしい ④
- ・精華町の子どもたちは恵まれていると思う ④
- ・このプロジェクトを知っていた ①
- ・このプロジェクトを知らなかった ①